

# 加藤登紀子 能登の夢コンサート in Tokyo

～能登はやさしや土までも～



**2013年6月7日(金)** 開場 6:00p.m 開演 6:30p.m

会場：**なかのZERO 大ホール** (JR・地下鉄東西線中野駅徒歩5分)

出演：**加藤登紀子**、告井延隆(ピアノ・ギター)、渡辺剛(バイオリン)、遠藤征志(ピアノ)

予定演奏曲目：**能登の夢、百年の恋歌、百万本のバラ、愛の讃歌、知床旅情** 他

チケット料金：6,000円(全席指定、税込み)

チケット販売：チケットぴあ 受付URL [pia.jp/t](http://pia.jp/t) (PC・携帯共通) TEL:0570-02-9999 (Pコード198-338)

店舗・コンビニ：チケットぴあ店頭、セブンイレブン、サークルK・サンクス

コンコルディア TEL:03-6427-5688 (<http://www.concordia.co.jp>)

お問い合わせ：コンコルディア TEL:03-6427-5688 (<http://www.concordia.co.jp>)

主催：スポーツニッポン新聞社 コンコルディア

後援：石川県、七尾市、石川県人会、関東七尾の会、関東中島町友会、東京穴水会、東京珠洲会、ふる里柳田会、東京門前会、東京輪島会

協力：能登の夢プロジェクト実行委員会

企画・プロデュース：コンコルディア

制作：トキコプランニング

# 加藤登紀子 能登の夢コンサート in Tokyo

森繁久彌さんがかつて七尾青年会議所創立30周年の記念で作詞して下さった「能登の夢」を能登半島の活性化に役立たせるため、昨年、能登の夢プロジェクト実行委員会が発足いたしました。プロデュース委任を受けて、加藤登紀子「能登の夢/百年の恋歌」のCD制作、コンサート開催をプロデュースさせていただきました。森繁久彌さんともご縁が深く、かつて珠洲や七尾でもコンサートでご縁があった加藤登紀子さんに新たに息を吹きかけていただき、さらに恋路海岸の民話を基に「百年の恋歌」を書き下ろしていただき、収録いたしました。世界農業遺産「能登の里山里海」認定記念CD「能登の夢/百年の恋歌」の誕生です。奇しくも今年は森繁久彌生誕100周年の年です。このCDを創ることにエネルギーを注いだのも、世界農業遺産に指定された地、能登半島にこそ、今の日本人が取り戻したい大切なキーワード「伝統的な祭り・文化の重要性、そこに生きる人々のコミュニティ、先祖、家族の大切さ、伝統的な農業、故郷の風土・風景の大切さ、自然への感謝と祈り」があり、その故郷を愛しているからに他なりません。そしてそのテーマを音楽が伝える役割があるのではという思いも強くありましたから。さらにこの歌を全国に向けて発信していきたいと考え、東京でのコンサートを企画いたしました。たくさんの方々に会場に足を運んでいただき、音楽から聴こえてくる能登の風景に出逢っていただきたい、そして音楽が懸け橋となり、石川県を、能登半島を訪れ、その大切な風景や人やものに出逢ってくださることを心から願っています。

プロデューサー 近藤由紀子(石川県七尾市出身)



2013年は森繁久彌さんの生誕100年。

1989年に社団法人七尾青年会議所創立30周年を記念して森繁さんが作られ、能登の人たちに愛されてきた「能登の夢」を復活させようということになり、私が歌わせていただくことになりました。

のどかな中にも熱い情熱が込められた抒情歌。

ゆったりと優しく、言葉のひとつひとつが伝わるように、心がけながら歌わせていただきました!

皆さんにも、大いに熱く歌い上げて欲しい、と思います!

私も何か「能登」の歌を、ということで作詞作曲したのが「百年の恋歌」です。

能登に言い伝えられた悲劇の恋「恋路物語」をもとに、能登の海の神秘の中で今もまだ恋心が生き続けているという幻想的な歌に仕上げました。物語は悲劇ですが、この歌は、愛し合えた二人は永遠の恋路を生きつづけているという幸せな歌になっています。

どうぞ、愛を込めて歌ってください!

加藤登紀子



世界農業遺産「能登の里山里海」認定記念

## 能登の夢/百年の恋歌 **好評発売中!**

加藤登紀子

1. 能登の夢 作詞:森繁久彌 作曲:岩代浩一
2. 百年の恋歌 作詞・作曲:加藤登紀子
3. 能登の夢(カラオケバージョン)
4. 百年の恋歌(カラオケバージョン)

定価 ¥1,200(税抜価格 ¥1,143) TRCS-0015